

教科	科 目	単位数	学年・クラス
数学	数学A	2	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	改訂版 新編 数学A
出版社	数研出版
副教材等	4 STEP 数学 I + A 教科書傍用
出版社	数研出版

2 学習の目標

1	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解する。
2	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付ける。
3	数学のよさを認識できるようになるとともに、それらを活用するようになる。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	A	C	総合的な出来
小テスト	A	B	C	既習事項を身に付けることができているか
レポート	C	C	A	提出内容
授業	C	B	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようになる。 確率についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようになる。
2 学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	平面図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようになる。 空間図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようになる。
3 学期	第3章 数学と人間の活動 約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算 ユークリッドの互除法 1次不定方程式	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようになる。